

2020年9月8日  
イオン琉球株式会社

**植樹を通じて環境保全活動を推進**

**イオン琉球・宜野湾市に1,000本のさくら植樹活動が  
令和2年 沖縄県 CO<sub>2</sub>吸収量認証制度に認定されました。**

イオン琉球株式会社（本社：南風原町、代表取締役社長：佐方圭二）は、沖縄県が県内における緑化活動についてCO<sub>2</sub>吸収量を評価・認証する制度において、宜野湾市と行った「嘉数高台公園 1,000本のさくら植樹」における1,135kg-CO<sub>2</sub>吸収量について認定書の交付を受けました。

この認証制度は、沖縄県の県民、市町村、企業などが計画的に実施する緑化活動について森林のCO<sub>2</sub>吸収量を評価・認証する制度で、県内の緑化活動を推進するとともに、地球温暖化防止の取り組みを促進することを目的としています。

この度、当社が2018年12月に宜野湾市嘉数高台公園に植樹した緋寒桜1,000本において1,135kg-CO<sub>2</sub>の吸収量が吸収要件を満たすとして、沖縄県より認定書の交付を受けることとなりました。

かつて沖縄戦の激戦地であった嘉数高台公園が、平和を願う場がさくらの名所になり、末永く地域の皆さまに親しまれることを願い、今後も適切な育樹活動を推進しながらCO<sub>2</sub>排出削減に寄与できればと考えております。

イオン琉球は、今後も豊かな緑を次代に引き継ぐため、植樹をはじめとする環境保全活動を積極的に推進してまいります。



2018年12月 嘉数高台公園さくら植樹



9月8日（火）沖縄県庁にて認定書授与

**イオン琉球の植樹活動について**

当社ではお客さまとともに取り組む環境保全活動として、地域に自生する苗木を植え大切に育てていく「イオン ふるさとの森づくり」を行っており、これまでに沖縄県内の店舗周辺や公共の場所に累計14万8千本の植樹をおこなっています。